

2005年夏期「異文化体験総合プログラム」のご案内

(特 長)

- ★ 単なる社会体験・見学プログラムではなく、インドネシアという国家を「社会」「言語」「歴史」「政治」「教育」「宗教」といった多角的見地から総合的に学びます。
- ★ 日本語によるクラス・ルーム講義と上記各側面の代表的な場面の実地見学により、立体的かつビジュアルに学びます。
- ★ ホームステイ、NGO の社会活動への実際参加を通じて、異文化社会への、より深い関わりを体験します。
- ★ NGO 活動を含む主要なイベントには、日本語を専攻するインドネシア側からの大学生も共同参画し、両国の若い世代の相互交流と理解・親睦を深めます。
- ★ 主たる言語は日本語とし、インドネシア語による一部の講義、社会活動への参加中も日本語への通訳をいたします。

1 研修機関 (参加者による選択)

マランクセスワラ大学 (東ジャワ マラン市)

2 期 間

2005年8月3日より1ヵ月間

3 参加資格

大学生 (短期大学を含む)、大学院生及びそれらに準ずる方で当社が適格と認めた方。
研修は日本語主体で行いますが、ホームステイ先でのコミュニケーションに必要な最低限の英語能力を要します。

4 研修費用

312,000円

a.費用に含まれるもの

往復国際航空運賃
現地迄の片道国内航空運賃 (自由行動後、帰国への出発地迄の交通費は各自負担)
日本の空港での空港使用料その他航空券購入に付随する料金
授業料、教材費及びNGO 社会活動諸費用
ホームステイ費 (食事費用を含む)
カリキュラムに含まれる課外活動諸費用
各大学への入学手続等諸費用
空港 (スラバヤ) への送迎費用
各大学までの当社現地スタッフ同行費用
オリエンテーション費用

b.費用に含まれないもの

日本国内交通費
渡航手続諸費用: 旅券交付印紙・証紙代等
海外旅行傷害保険: 各自でおかけいただきます。
税金: インドネシアへの入国 VISA 取得費用、空港税及び関税、超過手荷物料金
任意参加の課外活動費用 (例: 舞踊、パティック制作、ガムラン演奏等)
通学費 (ただし、ほとんどの家庭からは徒歩通学が可能です)
滞在中純然たる個人行動により生じた費用: 土産品、個人旅行費、宿泊先以外での飲食費等

5 日本でのオリエンテーション

2005年7月8日(金) 午後1時30分より下記の内容で実施します。

- a)参加にあたっての注意事項
- b)研修内容及び現地での生活

6 申込み締切日

2005年7月4日(申込書必着。緊急の場合のみファックスでも受け付けます)

日 程 表

(表示の時間は現地時間、東京出発の例)

日 次	場 所	時 間	摘 要
7月8日(金)	東 京	13:30	現地研修と生活に関する 国内オリエンテーション
8月3日(水)	日 本 発	19:10	シンガポール航空で成田発
8月4日(木)	シンガポール着	1:10	ジャカルタ or スラバヤ行きに 乗り継ぎ
	シンガポール発 スラバヤ着 マランへ	10:35 11:50	スラバヤへ 空港に当社ジャカルタ・オフィス及び大学 職員が出迎え、車でマランのキャン パスへ(当社スタッフもキャンパスまで 同行)
8月4日(木) ↓ 8月29日(月)	マラン 及び NGO活動サイト		研修活動・課外活動
8月30日(火) ↓ 9月2日(金)	自 由 スラバヤ 発	18:00	現地研修終了後、3日のインドネシ アから日本への出発まで自由行動 スラバヤから日本向け(シンガポ ール経由)出発
9月3日(土)	日 本	7:30	日本帰国

東京以外からの出発を希望される場合には航空料金によって研修費用が変わる場合があります。
阪神航空(電話番号はP3)にお問合せください。

お申込み条件

1. 申込方法

別紙の「**研修申込用紙**」をプリント・アウトし必要事項を記入、1名につき**申込金3万円**を以下のいずれかの銀行宛に振り込みの上、申込書、振込金額収書のコピーを当社宛ご郵送ください。

東京三菱銀行	新宿支店	普通預金	口座番号 2815970
みずほ銀行	池袋支店	普通預金	口座番号 5563140
りそな銀行	<small>かぐらぎ</small> 神楽坂支店	普通預金	口座番号 1297064

注) : 振込手数料は各自ご負担願います。なお、申込み時に費用全額を振り込まれても構いません。
申込書到着次第、取扱いエージェントの 阪神航空 より連絡致します。なお、1週間以内に
コンタクトがない場合には、郵便不着の恐れがありますので必ず当社までご連絡下さい。

2. 研修費用残額のお支払い

研修費用から申込金を差し引いた残額は、2005年7月4日までに全額お振り込みください。

3. 取消料

参加者は、次に定める取消料をお支払い（既振込金額より充当）いただくことにより、いつでも研修の申込みを取り消すことができます。

2005年7月16日まで	申込金相当額
2005年7月17日～7月24日まで	参加費用の 50%
2005年7月25日以降	参加費用の100%

4. 渡航の予約、航空券の購入

参加者の渡航計画の統一的な管理と、出発当日のフライトの遅延、中止等のトラブルへの統一的対処の必要性から、研修に関わる航空便の予約、航空券の購入はすべて下記指定エージェントで行って頂きます。（他のエージェントによるものはお受けできませんのでご了承ください）

阪神航空 (担当：緒方、遠藤) Tel 03-3561-8551 Fax 03-3561-8594

Eメール to905485@travel.hanshin.co.jp

お申込み受付後に上記エージェントよりご連絡いたします。なお、インドネシア入国ビザの有効期限が30日以内のため、9月2日を超えてインドネシアに滞在することはできません。

5. 研修内容変更・研修中止

研修機関・運輸機関のスケジュール、天災、ストライキ、その他不可抗力の事由、政府機関の指令、その他やむを得ない場合は、当研修の円滑な実施を図るため、研修日程の変更、研修内容の全部または一部の変更、中止をすることがあります。上記事由による研修の中止、日程変更により参加が不可能になった申込者の払込済みの研修費用については、当社事務手数料を差し引き残額を返却いたします。また、申込者の個人的事情で定められたスケジュールからはずれた場合、全ての費用はお返しできません。

6. 免責事項

当社は、参加者が以下の事由によって損害を受けられた場合においては賠償の責任は負いません。

- 1) 天災地変、戦乱、同盟罷業、不慮の災難、交通事故、政府公共団体の指令、暴動、空賊、盗賊、詐欺、疾病、隔離（流行病を含む）、税関規則などの不可抗力、その他やむを得ない事由。
- 2) 各種運輸、宿泊機関、研修大学など当社以外の責めにより生じた損害。
- 3) 運輸機関の遅延、不通またはこれらによって生ずる研修日程及び滞在期間の変更。
- 4) 参加者自身による故意または過失による損害。

研修地及び研修機関の紹介

東ジャワ州の高原都市マラン市はインドネシアにおける中部ジャワのジョクジャカルタ市と並んで二大文教都市のひとつとして位置づけられており、数多くの国立、私立大学が立地しています。

(マラン市とマランクセスワラ大学)

人口 70 万人のマランはスラバヤに続く東ジャワ州第二の都市です。赤道直下の国インドネシアにありながら、標高 450mの地点にある高原都市マランには熱帯の暑さはありません。緑に囲まれた街なみは美しく、その清涼な気候とともに勉学には最適な環境を作り出しています。一層充実した教育内容と環境を実現するため、2 つの大学の協力体制のもとでの研修体制を組んでいます。まず研修の実施にはマラン国立大学の語学教育の専門教官が当研修のために特別チームを編成し、教育のみならずホームステイ、その他生活面のすべてにわたって責任を持って指導、お世話いたします。同大学は国立教育大学 (IKIP) を前身とするインドネシア語教育の専門高等教育機関でこれまでも多数の外国人留学生の教育にあたってきました。学内研修の場はマランクセスワラ大学のキャンパスにて行います。せせらぎのある自然環境の中に伝統的なジャワの雰囲気が漂うたたずまいのキャンパスでの研修は印象的なものとなるでしょう。

詳しくは当社ホームページ「インドネシア研修事業」の項をご覧ください。

<http://www.shinko-omc.jp/default.htm>

新光オーエムシー株式会社

SHINKO Overseas Management Consulting, Inc.

〒 162-0052 東京都新宿区戸山1-1-5 エールプラザ 203

(電話) 03-5272-2191 (Fax.) 03-5272-2192

E-メール: sugimoto@1971.jukuin.keio.ac.jp